

中・上級レベルの「聴解」授業計画案

- 早稲田大学日本語教育研究センター、聴解 6A クラスを例に -

1. 授業の目標

中・上級語彙の習得（講義などで使用される書き言葉）
 正確な聞き取り
 要旨把握
 未知の語の推測

2. 使用教材（放送された番組を録画して使用する）

内容・話題 :
 学習項目 :
 その他 :

*NHK「首都圏ニュース・特集・報告」(月～金NHK 18:00～18:55) など

3. 授業の組み立て

A. 正確な聞き取り、再生練習を中心とする場合

[理解] 導入 - 教材のテーマに関したことについて話す。

全体視聴（概要把握）

いつ、どこで、だれが、何をしたか、などについて理解したことを引き出す。

* 異なった意見が出た場合、原則として正解を言わず後で自分たちで確認させる。

部分視聴（正確な聴取）

正確な聞き取りと、語句の意味の正確な理解を行わせる。

* 原則として1文単位で聞き取らせる。

* わからない語句をすぐ教えないで、推測させる。

[練習] 要旨把握

* 内容についての質問を行う。また、プリントを配って答えさせる。

再生練習

1文を単位として、キーワードなどを与え、ニュースと同じ内容の文を再生させる。

* 次回返却するとき、誤りが多い語句などについては注意、練習する。

[確認] - スクリプトを配布して、それを見ながら最後に視聴させ、確認する。

B. 要旨把握を中心とする場合

[理解] 導入 - 教材のテーマに関したことについて話す。

全体視聴（概要把握）

* グループで話し合い、協同作業で理解したことを確認させて、代表が発表する。

* 異なった意見が出た場合、原則として正解を言わず後で自分たちで確認させる。

段落視聴（正確な聴取）

段落ごとに視聴し、内容理解を行う。語句の意味の正確な理解も行う。

* 原則として段落単位で聞き取らせる。

* わからない語句をすぐ教えないで、推測させる。必要ところで予測も行わせる。

[練習] 要旨把握

段落ごとの要旨把握を行わせ、画面などから文化情報把握も行わせる。

* 内容についての質問を行う。またプリントを配って答えさせる。

[発展] - テーマに関することについて討論を行ったり、特定の場面での表現練習などを行う。

[確認] - スクリプトを配布して、それを見ながら最後に視聴させ、確認する。